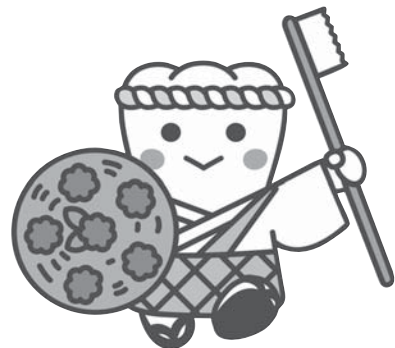


11月8日は いい歯の日



PRキャラクター
山形県ご当地「よ坊さん」

はちまるにいまる

8020運動 を実践しよう

8020運動とは「80歳になっても自分の歯を20本以上保とう」という運動です。

一生自分の歯で楽しい食生活と健康な日常生活を送るために、子どものころからの正しいデンタルケアと青年期の予防が大切です。

か
広げよう「噛む」から始まる
健康づくり

12月31日まで、山形県歯周疾患検診事業・
山形県後期高齢者医療歯周疾患検診事業・
各共済組合歯周疾患検診事業を実施中

「生きる力」を支えるための歯科医療

昨日の第31回全国歯科保健大会の開催に際しては、多くの県民の皆さまにご参加いただき、ありがとうございました。私たちは県民の皆さんの「お口の健康管理」を通し、生き生きとした生活が送れるよう日夜、努力しています。歯科医療は、一人一人の生きる力を支えるものです。生きる力を生み出すのは食べること。食べるためには、お口の中が健康でなければなりません。80歳までに20本以上自分の歯を保とうという「8020運動」、食べる時に30回以上噛(か)もうという「噛ミング30(カミングサンマル)」運動などを展開していますが、その原点は「生きる力を支える」ことなのです。在宅訪問歯科診療やお口の健康のことでお困りの際はぜひ、お近くのかかりつけの歯科医院や歯科医師会に、お気軽にお尋ね下さい。

山形県歯科医師会会長
石黒慶一



歯科医療は「生きる力を支える生活の医療」です。

日本歯科医師会 <http://www.jda.or.jp/>

山形県歯科医師会 <http://www.keishi.org/>